

令和4年度 串間市立秋山小学校 自己評価書及び学校関係者評価書 ①

学校経営ビジョン：子どもにとって「楽しい学校」、地域や保護者にとって「信頼できる学校」、職員にとって「働きやすい学校」
〔4段階評価 4:たいへんよく取り組んでいる 3:よく取り組んでいる方である 2:少し改善(努力)することがある 1:まだ改善(努力)をしなければならない〕 ※（ ）内は自己評価

評価項目	具体的目標	方策	自己評価		成果と課題	評価者評価	学校関係者評価委員の意見
			目標別	項目別			
生徒指導の充実	望ましい人間関係の醸成	○教育相談等に基づいた指導の充実(学校生活アンケートや教育相談の実施、ハッピースマイル委員会の実施、関係機関との連携など)	4	4	○全職員で児童理解に努め、児童理解に基づいた指導を行ったり、人権週間に合わせて掲示物の工夫や、道徳や学級活動の授業を行ったりすることにより、「望ましい人間関係の醸成」に関する学校評価アンケートの肯定的評価１００％を達成することができた。また、毎月実施している児童向けの生活アンケートにおいても、すべての児童が「学校が楽しい」と答えている。今後も、全職員ですべての児童を見守り、指導していく。	4	○今後も学校だけでなく、地域全体で児童の学習や生活の様子を見守ったり、声かけを行ったりしながら、児童が楽しい学校生活を過ごすことができるように学校と地域が連携することで、更なる望ましい人間関係づくりの育成が図られると考える。 ○これからの社会を担う児童たちが自分の考えを適切に表現できる人間関係づくりを推進するために、学校や家庭、地域が児童の成長を称賛し、改善すべきことはなぜいけないのかを児童が理解できるように説明し、改善していく姿勢が重要であると考える。 ○秋山小での最後の運動会、グラウンドゴルフ交流会、秋山っ子発表会などの学校行事の参観を通して、児童が元気よくはきはきと受け答えができたり、どの児童も変わらず熱心に活動したり、学校だけでなく地域でも礼儀正しく挨拶したりしており、基本的な生活習慣の定着は十分できていると感じる。 ○児童を取り巻く環境が年々多様化する中で、順応できないことから人を傷つけたり、人から傷つけられたりなど、心が不安定になりがちな事例を新聞、テレビ等で目にする。心を大切にする教育を、学校教育の最優先課題として、今後もしっかり取り組んで欲しい。 ○今後も、生徒指導の充実のために、学校がリーダーシップを発揮しながら、保護者や地域と連携し、系統性のある様々な活動に取り組んで欲しい。
		○人権教育の推進(研修会の実施、学級活動の年間計画の見直し、メディアとの上手な接し方の指導など)					
	基本的な生活習慣の定着	○家庭との連携による指導の推進(個人面談、全体・学級懇談などの機会の活用など)	○命を大切にし、守る教育を推進することにより、今年度も大きな事故や事件に巻き込まれる児童はいなかった。いのちの教育週間に合わせて、道徳の授業を行ったり、掲示物を工夫したり、朝の会等で命に関する話をしたりすることにより、「命を大切にし、守る教育の推進」に関する学校評価アンケートの肯定的評価１００％を達成することができた。				
		○時を守り、場を清め、礼を正す教育の推進(率先垂範、職員の共通理解による指導など)					
命を大切にし、守る教育の推進	○命の教育の推進(千羽鶴を贈る活動や平和集会の実施、県いのちの教育週間での取組、関係機関と連携した指導など)	4	3	○全職員で公開授業、授業後の授業研究会を行ったり、学力検査の問題や学力検査結果の分析及び考察に基づいた指導法の改善に取り組んだりすることにより、「教師の授業力の向上」に関する学校評価アンケートの肯定的評価１００％を達成することができた。	4	○学習の習熟度や定着度については、個人差もあり、一概に評価することはできないが、教師が学力向上に対して熱心に取り組んでいる状況を授業参観等で確認することができた。今後も、学力調査結果の分析等を生かして、児童一人一人と向き合った学習指導に取り組んで欲しい。 ○個に応じた指導を展開するとともに、グローバルな社会で活躍する人材を育成するために、児童が地域や社会との交流の場で情報を発信し、コミュニケーション能力を高めながら、児童一人一人が自信をもてるような教育活動を推進して欲しい。 ○年間の読書目標を意識させながら読書活動に取り組ませ、ほぼすべての児童が目標を達成できたことは、大変すばらしい。今後も、継続して読書活動を推進して欲しい。	
							個々の学力の向上
	読書の習慣化	○習熟の時間の確保と繰り返しの指導による基礎的・基本的な学習内容の理解と定着(授業はじめの小テストの実施、秋山スタイルの実践など)		○月１回の市立図書館職員による読み聞かせや読書の時間の確保などの本にふれる機会の設定や読書の奨励に取り組んできたことにより、「読書の習慣化」に関する学校評価アンケートの肯定的評価１００％を達成することができた。半数の児童が年間読書目標冊数を達成しており、残りの児童も達成する見込みである。			
		○本にふれる機会の設定(読書の時間の確保、市図書館の職員による読み聞かせの実施など)					
確かな学力の定着	教師の授業力の向上	○県教委委員会の「授業改善の４＋４のチェックポイント」を踏まえた授業の推進(秋山スタイルの確立と実践)	3	3	○全職員で公開授業、授業後の授業研究会を行ったり、学力検査の問題や学力検査結果の分析及び考察に基づいた指導法の改善に取り組んだりすることにより、「教師の授業力の向上」に関する学校評価アンケートの肯定的評価１００％を達成することができた。	4	○学習の習熟度や定着度については、個人差もあり、一概に評価することはできないが、教師が学力向上に対して熱心に取り組んでいる状況を授業参観等で確認することができた。今後も、学力調査結果の分析等を生かして、児童一人一人と向き合った学習指導に取り組んで欲しい。 ○個に応じた指導を展開するとともに、グローバルな社会で活躍する人材を育成するために、児童が地域や社会との交流の場で情報を発信し、コミュニケーション能力を高めながら、児童一人一人が自信をもてるような教育活動を推進して欲しい。 ○年間の読書目標を意識させながら読書活動に取り組ませ、ほぼすべての児童が目標を達成できたことは、大変すばらしい。今後も、継続して読書活動を推進して欲しい。
		○授業力向上を図る実践的研究の推進(一人１回以上の授業公開と授業研究、県や市の教育委員会と連携した指導)					
	個々の学力の向上	○スキルアップタイムの充実(学力テストの問題分析や結果分析に基づく指導)	4		○毎月１回スキルアップタイムを実施し、学力検査の過去の問題や活用力を高める問題に取り組ませたり、授業始めに小テストの時間を確保したり、くり返しの指導による基礎的・基本的な学習内容の理解と定着に取り組ませたりすることにより、「個々の学力の向上」に関する学校評価アンケートの肯定的評価１００％を達成することができた。また、１２月に実施した「くしま学力調査」においては、ほとんどの学年で市や全国の平均を上回ることができた。		
		○習熟の時間の確保と繰り返しの指導による基礎的・基本的な学習内容の理解と定着(授業はじめの小テストの実施、秋山スタイルの実践など)					
読書の習慣化	○本にふれる機会の設定(読書の時間の確保、市図書館の職員による読み聞かせの実施など)	3	○月１回の市立図書館職員による読み聞かせや読書の時間の確保などの本にふれる機会の設定や読書の奨励に取り組んできたことにより、「読書の習慣化」に関する学校評価アンケートの肯定的評価１００％を達成することができた。半数の児童が年間読書目標冊数を達成しており、残りの児童も達成する見込みである。				
	○「くしまっ子読もうよ１００冊」を含めた年間目標達成に向けた読書の奨励(読書通帳の活用と図書室の整備など)						
健やかな体の育成	体力向上プランに基づいた取組の推進	○教科体育の充実や外遊びの奨励(合同体育の実施、職員も一緒に遊ぶ取組など)	4	4	○体力向上プランに基づき、教科体育の授業開始時に鉄棒、肋木等を用いたサーキットトレーニングに取り組ませたり、毎朝の活動としてストレッチに取り組ませたり、昼休みに職員も一緒に遊んだりするなどの取組により、体力テストでは半数以上の児童が体力賞(Ａ判定)を受賞した。また、「体力向上プランに基づいた取組の推進」に関する学校評価アンケートの肯定的評価でも１００％を達成することができた。	4	○サーキットトレーニングや毎朝のストレッチなど、児童と教師が一緒になった、小規模校ならではのきめ細かい取組の結果、体力テストで体力賞を受賞する児童が多いことは大変すばらしいことである。今後も、一輪車同様に秋山小ならではの取組として継続して欲しい。 ○児童数が少ないため、集団競技を通して体づくりを行うことが難しい状況である。そのため、けがの防止に努めながら体のコンディションを整えることを意識させて体力づくりに取り組むことを、児童に心がけさせていく必要があると考える。 ○食育の指導の推進も大切なことであり、弁当の日などを計画的に実施していることで「健康的な生活習慣の定着」が図られていると認識している。今後も、学校と家庭が連携しながら、食育の推進に取り組んで欲しい。
		○年間を通した体力づくりの指導(サーキットトレーニング、一輪車、持久走など)とその成果を発表する機会の設定					
	健康的な生活習慣の定着	○保護者と連携した「早寝、早起き、朝ごはん、朝うんち」の習慣化のための取組の実施(生活リズムチェックの活用など)	4		○毎月実施している生活リズムチェックの結果を通信や掲示物等で児童や保護者に伝えることで課題意識をもって健康に留意する姿が見られるようになり、病気で欠席する児童(２名)は、ほとんどいなかった。また、年間２回弁当の日を実施し、調理技術に応じた目標を立て弁当作りに取り組ませたり、栄養教諭と連携した食育指導を全学年実施したりすることにより、「健康的な生活習慣の定着」に関する学校評価アンケートでも肯定的評価１００％を達成することができた。		
		○「弁当の日」や、栄養教諭と連携した食育指導の実施(年２回の弁当の日の実施、朝ご飯をつくる活動の実施など)					

令和4年度 串間市立秋山小学校 自己評価書及び学校関係者評価書 ②

学校経営ビジョン：子どもにとって「楽しい学校」、地域や保護者にとって「信頼できる学校」、職員にとって「働きやすい学校」
〔4段階評価 4:たいへんよく取り組んでいる 3:よく取り組んでいる方である 2:少し改善(努力)することがある 1:まだ改善(努力)をしなければならない〕 ※()内は自己評価

教 小 育 中 の 高 推 進 貫	小中高連携による 集合学習の実施	○他の学校との直接・間接的な交流学習の推進(他の小学校との 交流学習、中学校に向いての学習、タブレットを使ったオンデマ ンド学習など)	4	3	○北方小、福島小等、市内5校の小学校との年間9回の交流学習の実施、小 4・6年生を対象とした串間中への学校訪問の実施、市内小学校とのリモート 授業の実施により、「交流学習小中高連携による集合学習の実施」に関する学 校評価アンケートの肯定的評価100%を達成することができた。	4	○北方小や福島小などの5校との交流学習を実施できたことは、児童に とって重要なことであると考ええる。交流を通して児童に自信がつき、自分 から発言したり、行動を起こしたりする児童の育成が期待される。今後 も、対面での交流だけではなく、リモート学習なども引き続き活用しなが ら、積極的に他校との交流学習を推進して欲しい。	
	「くしま学」を生か し、郷土を愛し、郷 土に誇りをもつた めの学習の工夫	○くしま学カルタの活用(朝の活動でのくしま学かるた取りの実施 など)	3				○くしま学カルタに計画的に取り組んだり、外部講師による主権者教育の授業 を実施したりすることにより、「くしま学の活用」に関する学校評価アンケ ートの肯定的評価100パーセントを達成することができた。	○くしま学カルタ等に熱心に取り組んでいる様子を、新聞等で知ることが できた。今後も、内容を工夫しながら、実際に行ったり、見たりする学習 を推進して欲しい。
		○実際に行く、見る郷土学習の推進(発表の機会の設定など)						
と の 家 庭・地 連 携 域	地域と連携を図つ た取組の推進	OPTA組織や地域と連携した活動(運動会、グランドゴルフ交流 会、そば打ち体験などの実施など)	3	3	○秋山小での最後の地区民との合同運動会の実施や、グランドゴルフや敬老の 日の手紙等を通して地域高齢者との交流を行ったことにより、「地域と連携を 図った取組の推進」に関する学校評価アンケートの肯定的評価100%を達成 することができた。	4	○地区民との交流を通して、高齢者を敬ったり、優しく接したりする心の 育成は、この時期の児童にとって大切なことである。今後も、児童と地区 高齢者とのグラウンドゴルフ交流会などを通じて、地域との更なる交流を 推進して欲しい。	
	家庭・地域への積 極的な情報発信	○各種「たより」「メール」「ホームページ」等での情報の発信(学校 だよりの月1回の発行、必要に応じたメール配信、ホームページの 毎日更新など)	4				○月1回の地域回覧を用いた「学校だより」の発行や、ホームページの定期的 な更新により、「家庭・地域への情報発信」に関する学校評価アンケートの肯 定的評価100%を達成することができた。	○学校だよりは、ホームページを見ることができない高齢者等にとっては 唯一の情報源である。今後も、ホームページだけではなく、学校だよりに よる情報発信にも引き続き積極的に取り組み、学校の取組を定期的に発信 して欲しい。
	地域や保護者の意 見を生かした学校 経営	○学校への意見に対する組織的かつ真摯な対応	3				○保護者からの要望や意見に対して全職員で速やかに対応することを心がけたり、職員から保護者に声をかけ、話しやすい雰囲気づくりに努めたりすることにより、「学校評価を生かした学校運営」に関する学校評価アンケートの肯定的評価100%を達成することができた。今後は、地区民(秋山の教育を語る会員)の外部評価の結果や意見を真摯に受け止め、来年度の学校運営に生かしていく。	○秋山の教育を語る会(学校評議員)の一員として、秋山小学校単独校での最後の運動会など記念すべき諸活動に参加し、教育環境の充実や学校評価に携わることができた。また、児童とのふれ合いを大切にしながら、成長を見守ることができた。今後も、全児童がしっかりと夢をもち、夢の実現に向けて積極的に活動できる教育活動の推進を期待したい。
		○学校評価アンケート(保護者・地区民対象)の実施と活用						